

「あいち観光戦略 2024-2026(仮称)」(案)の概要

1. 基本的な事項

策定の目的	観光振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与することにより、訪れる人(旅行者)、住む人(県民)、働く人(観光関連事業者)が満たされた状態(ウェルビーイング)を実現する。
位置付け	①愛知県観光振興基本条例に基づく観光振興に関する基本的な計画 ②「あいちビジョン 2030」及び「あいち経済労働ビジョン 2021-2025」に連なる、観光振興分野の具体的な計画
期間	2024年度-2026年度(3か年)

2. あいちの観光を取り巻く状況

観光マーケットの傾向 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光消費喚起事業による国内旅行マーケットの下支え ✓ インバウンド需要の回復・増加 ✓ 観光関連産業における人員不足感の高まり ✓ 「新たな旅のスタイル」の進展 ✓ パーソナルで高付加価値な観光需要の高まり ✓ 持続可能な観光に対する意識の高まり ✓ 旅マエ・旅ナカ・旅アトにおけるデジタルの浸透 ✓ MICE 需要の回復・成長 ✓ MICE マーケットの変容 	「あいち観光戦略 2021-2023」の評価・課題 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本県が目指す観光の明確化と地域との共有 ✓ 県一地域間の連携強化 ✓ 運輸機関との連携強化 ✓ 公式観光サイトによる情報発信力の向上 ✓ 地域資源の観光コンテンツ化プロセスの確立 ✓ 高級ホテル整備の進展 ✓ 国際会議や展示会開催の定着・拡大 ✓ インバウンド回復の遅れ ✓ 高付加価値な観光コンテンツの開発力・販売力不足 ✓ デジタルシフトの遅れ ✓ 県民の県内観光推奨意向の低迷 ✓ 多様な主体の巻き込み不足 ✓ MICE 開催地に経済波及効果が偏在 ✓ 企業等の会議や報奨・研修旅行に係る実態把握の不足
--	--

3. 目指すべき姿

「さすが」と言いたくなる「観光県・あいち」
 — あいち「ツウ」リズム*2.0 —【革新・成長】【持続可能】【高付加価値】

本県には、歴史や産業、自然、文化等に根差した地域資源が豊富に存在します。これら地域資源が本来的に持っている本物の魅力をオープンイノベーション等を通じて高付加価値で持続可能な観光コンテンツとして磨き上げます。そして、本県を訪れた人に期待を超える感動を提供し、思わず「さすが」と言っていたらいいような、観光県になることを目指します。

この目指すべき姿の実現を図るため、「革新・成長」「持続可能」「高付加価値」を切り口に観光振興施策を進化させます。

*本県ならではの地域資源を、何度でも楽しめる奥深い「ツウ」な魅力として磨き上げ、その道の「ツウ」な人でも満足できる付加価値の高い観光。本県が目指すべき姿として「あいち観光戦略 2021-2023」で初めて提示。

4. 施策立案・実施にあたっての基本方針

A. 高付加価値化の推進 ・属性に加え、趣味嗜好に応じたマーケティングを重視 ・「あいち」ならではの魅力・強みを最大限生かす	B. 持続可能性の追求 ・観光地域全体の持続可能性を考慮した観光振興を推進	C. デジタル化・DX の推進 ・デジタルシフトを進め、商品・サービスや業務面の変革を促進	D. オープンイノベーションの促進 ・多様な主体との連携によりオープンイノベーションを促進
---	---	---	---

5. 施策の展開分野及び実施すべき施策

- I. 地域資源の観光コンテンツ化
 - ・満足度・推奨度の向上を図るとともに、国内及び訪日外国人旅行者の観光消費額単価の向上を図る
 - ・訪日外国人旅行者に向けては、国や地域などの特性も踏まえ、訴求力がある体験型コンテンツを造成
- II. PR・プロモーション
 - ・ターゲットを設定し、的確かつ効率的に情報を送り届ける
 - ・訪日外国人旅行者に向けては、国や地域別にそれぞれの趣向に合わせた内容や手段も重視
- III. 受入環境の整備
 - ・誰もが安心して快適に旅行を楽しむことができる観光地づくりの推進
 - ・多様な宿泊ニーズや「新たな旅のスタイル」への対応のほか、移動や消費の利便性を高める
- IV. 観光地経営体制の強化
 - ・各団体間の連携・協働を進め、観光地経営体制の強化に寄与
 - ・観光地域づくりに多様な主体を巻き込み、各主体の観光振興に係る取組を促進
- V. MICE の誘致・開催に向けた取組強化
 - ・本県の強みを生かし、市町村や経済界、学術機関等と連携して、MICE の更なる誘致・開催に向けた取組を推進
 - ・県内観光地等への周遊を促し、滞在時間や消費の拡大につなげる

6. 数値目標

【質】 観光消費額単価 *2019年比 1.25倍	日本人 6,850 円 外国人 80,000 円	観光消費額 1.1 兆円 うち外国人 3,040 億円	満足度 全体 50.0%、外国人 50.0% 推奨意向 県民 30.0%、県外在住者 50.0% 再訪意向 県外在住者 100.0%
【量】 観光入込客数 *2019年水準	全体 1.2 億人回 うち日本人 11,620 万人回 うち外国人 380 万人回		来県外国人旅行者数 290 万人 延べ宿泊者数 全体 2,000 万人泊 (うち外国人 365 万人泊) 国際会議開催件数(JNTO 基準) 260件

7. 推進体制

